

中央区自治協議会だより

10月21日

中央区だよりは
2・3面に
掲載しています

提案事業進行中

今年度第1号(通算第4号)をお届けします。
今号は主に2年目となる自治協議会提案事業の今年度の進捗状況を部会ごとに報告するほか、自治協議会を構成する公共的団体などを紹介します。
また、7月に行われた新潟市区自治協議会委員研修会、中央区自治協議会委員と教育委員会事務局との懇談会の様子も紹介します。

今年度前半は
研修会などに参加

新潟市区自治協議会委員研修会

7月11日、新潟市立総合教育センターで各区での取り組みの活性化を図ることを目的に開催されました。
中央区自治協議会からも15人の委員が参加し、テーマ(地域課題)ごとに分科会に分かれて日頃の取り組みや課題、先進事例などについて、活発な議論・意見交換を行いました。

教育委員会事務局との懇談会

7月27日の自治協議会終了後に教育委員会事務局から「平成23年度新潟市生活・学習調査」と「二葉中学校と舟栄中学校の統合」についての説明がありました。
続いて行われた意見交換の場では、主にいじめの問題や学校統廃合について話し合ったほか、女性管理職登用、地域教育コーディネーターの配置などについての質疑応答がありました。

ご参加ください

鳥屋野潟シンポジウム

日時 10月28日(日)
午後1時30分～4時40分
会場 市民プラザ(NEXT21 6階)
内容 鳥屋野潟調査結果の報告、パネルディスカッション、参加者とパネリストとの意見交換会ほか

まちなか再生 新交通システム 賑わいづくり

拠点と賑わいのまち 部会

当部会では、平成21・22年度に中心市街地の衰退の原因を探り、再生に向けての今後のあり方を模索してきました。23年度には、購買余暇活動と中心市街地との関連性を解明するため、高校生対象のアンケートおよびワークショップ=写真=を実施し、10代の若者の中心市街地に対する意識を調査しました。



現在は市内在住の成人4,000人を対象にした同様のアンケートを行っています。この結果について後日お知らせするとともに、中心市街地の活性化に向けた提言を行います。

防災 安心・安全 教育 福祉

人にやさしい暮らし のまち部会

今年度は、二つの事業を提案、実施しています。
①津波避難施設の調査・確保とマップ作成・配布事業
各地域の津波避難施設をまとめたマップを作成・配布するため、津波避難施設としての使用協定の締結状況などについて確認をお願いしています。
②「ひとり暮らし高齢者の生活と意識に関する調査」を活用・実践する事業
「ひとり暮らし高齢者の買い物支援」事業を実施するため、実行委員会を組織して事業者への協力依頼などの活動をしてきました。



モデル地区において、11月から事業を実施する予定です。

海岸 河川 鳥屋野潟 みなと 観光

水辺とみなとのまち 部会



鳥屋野潟の“あるべき姿”を一緒に考えてみませんか！
当部会では、平成20年度から、鳥屋野潟の保全や活用について中央区の課題として捉え、さまざまな機会を通じて検討を重ね、鳥屋野潟のよりよい姿について取り組んできました。
この度、鳥屋野潟のあるべき姿について市民の皆さんと共に考えるため、「鳥屋野潟シンポジウム」を開催いたします。
市民の宝ともいえる鳥屋野潟について、市民からの意見、希望を広く求め自由な意見交換を行います。

私たちが自治協に参加しています

新潟市中央区・地区民生委員 児童委員会長連絡会

民生委員児童委員は地域の皆さんが安心して暮らすことができるように、見守り活動を行っています。
また、多様なニーズに応え、孤立をなくす活動、災害時に一人も見逃さない運動、青少年健全の見守り活動などを各地域コミュニティ協議会と連携して進めています。
このほかにも、困りごと相談や障がい者大運動会のお手伝いなども行っています。
今後とも、地域の皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

にいがた女性会議

当会議は、「新潟市男女共同参画行動計画」に沿って6部会を置き、家庭・職場・地域で男女が平等に関わることができる社会を願い活動しています。
市長や市の担当部署、女性市議との懇談会などでさまざまな提言をしています。今年度、市においては女性の登用を促進する要綱の施行やDV相談支援センターの開設が実現しました。
当会議ではこれからも自治協などを通じて女性の参画の大切さなどを呼びかけていきます。

亀田郷土地改良区

かつて「芦沼」や「地図にない湖」と呼ばれた亀田郷は、排水機場や水路網の整備により、豊かな田園地帯となりました。
川から取り入れた農業用水は、田畑をうるおした後、鳥屋野潟へ注ぎ、親松排水機場から常に信濃川へ排水されています。
都市化が進み、身近な水辺が減少する中で、治水、利水、環境が調和した地域づくりをめざし、水がつながるネットワークを活かす取り組みを進めています。

新潟市商店街連盟

旧新潟市内の26商店街(会)会員と大型店4店舗の賛助会員で構成する団体です。
中央区は新潟市の商業の中心地でもあり、構成員の半分以上が中央区に在ります。
当連盟は主に行政とのパイプ役として事業者の支援を行い、また、年2回商店街における歩行者通行量調査を行っています。
おなじみの新潟市共通商品券は、連盟傘下の商店街などの個店が出資して設立した(協)新潟市商店連合会が発行しています。

新潟市南商工振興会

当会では次のような活動を行っています。
◎新潟駅の連続立体化早期実現のための活動
◎中央区に導入する新公共交通への提言
◎鳥屋野潟の整備推進を提唱
◎けやき通りのイルミネーション、光のページェント
◎“春のカナール彩”を鳥屋野潟で実施
若者だけでなく高齢者も社会貢献出来る社会を目指して、今後も自治協議会へ積極的に参加し、地域同士の問題解決のため連携を図ります。



自治協議会の概要・ 次回開催のお知らせ

9月28日に行った第6回会議では、区自治協議会提案事業についての議事を行ったほか、市内警察署の再編整備計画、市施設の津波避難ビルの指定、新潟市事業仕分け外部評価会議の結果などの報告がありました。
※会議の概要や資料は、市役所本館1階市政情報室で閲覧できるほか、区ホームページ(<http://www.city.niigata.lg.jp/chuo/>)に順次掲載します

■次回の開催

日時 10月26日(金) 午後3時から
会場 市役所本館6階 講堂
傍聴者の定員 先着20人
問い合わせ 地域課区政推進係
(☎223-7023)

※議題は、開催日のおおむね1週間前までに、市役所本庁舎や東出張所、南出張所に掲示するほか、区ホームページに掲載します